

GENSHIN IMPACT UNOFFICIAL FANBOOK

DILUC × KAEYA



名前はまだない

R18

ガイア

僕は君と
今のような
関係ではなく…

ちゃんと
「恋人」になりたいと
思っているんだが

—
は？



…イア隊長

ガイア隊長!

はっ



大丈夫ですか?
お疲れの
ようですが

ああ:
問題ない

こんな時間まで
付き合わせて
悪かったな

いえ
千岩軍との交渉
まともって
よかったですね



あっ
ガイアだ!

おお
旅人に
パイモン

来てたのか

オイラたち
ちようど
騎士団からの
帰りなんだ!

ほう
依頼でも
受けたのか?

えっと…
実は…

ディルツクの大変なことになったちゃったんだ…



—お前らは先に帰っていいぞ
報告は俺がしておく

はいっ
お疲れ様です!

—で旦那がどうしたって?

実は今日秘境に付き合ってもらったんだけど…

宝箱に術がかけられてたみたいで…

若返ったあ?

ディルツクが?





若返ったというか…
過去のディルックさんと
入れ替わった？
みたいなの…

服装もいつもと
違ってて

ジンが
「騎士団にいた頃の
ディルック先輩だ」
——って言ってたぞ



それは
良かった

その頃は未成年…
旦那の酒が
飲めないのは
困るからな

お前ってホント
酒ばっかり
だよな！



…ほう？

そいつは
面白いな

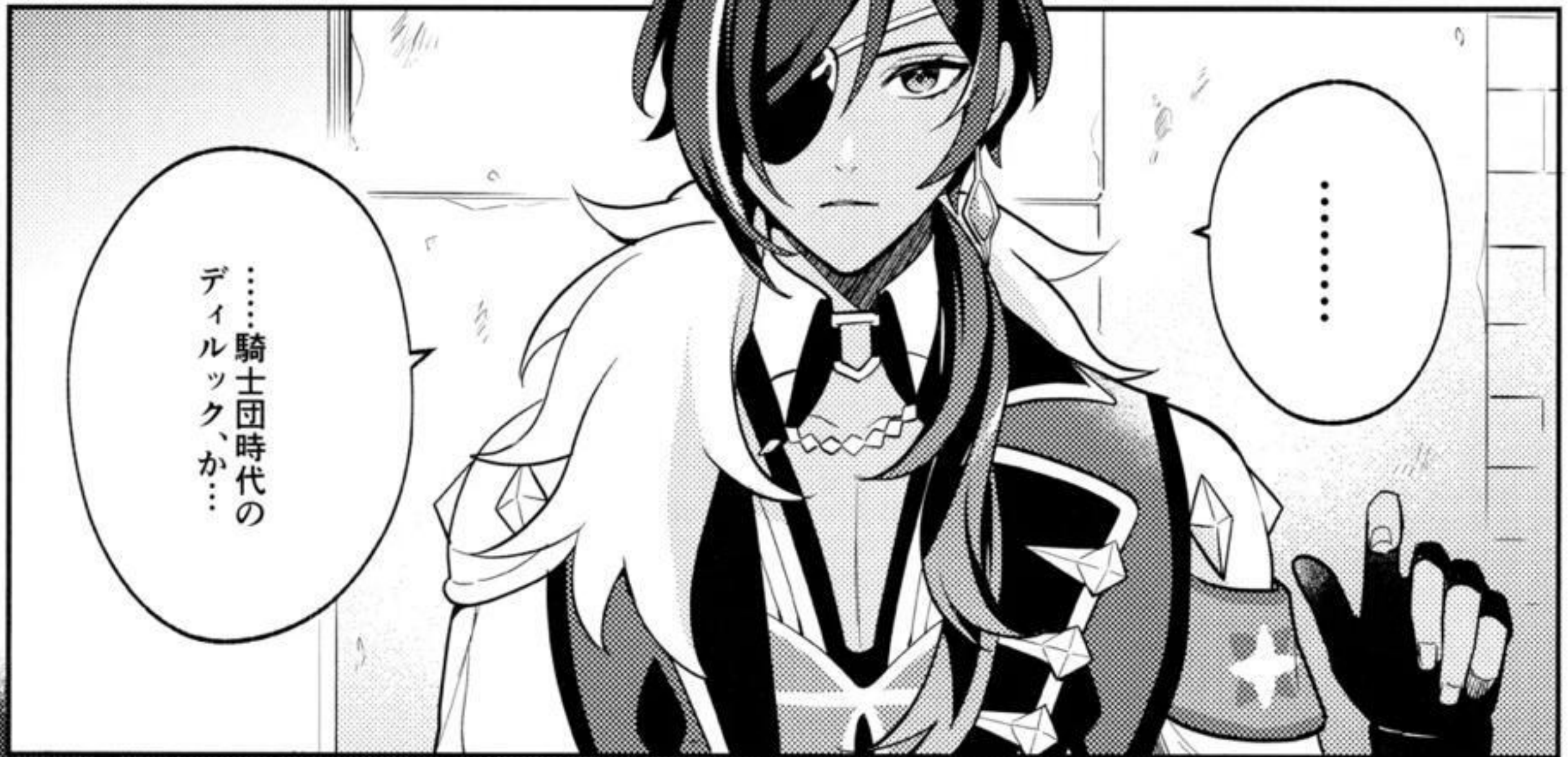
アルベドの見立てでは
時間経過か
術を破れば元に戻る
んじゃないかって…

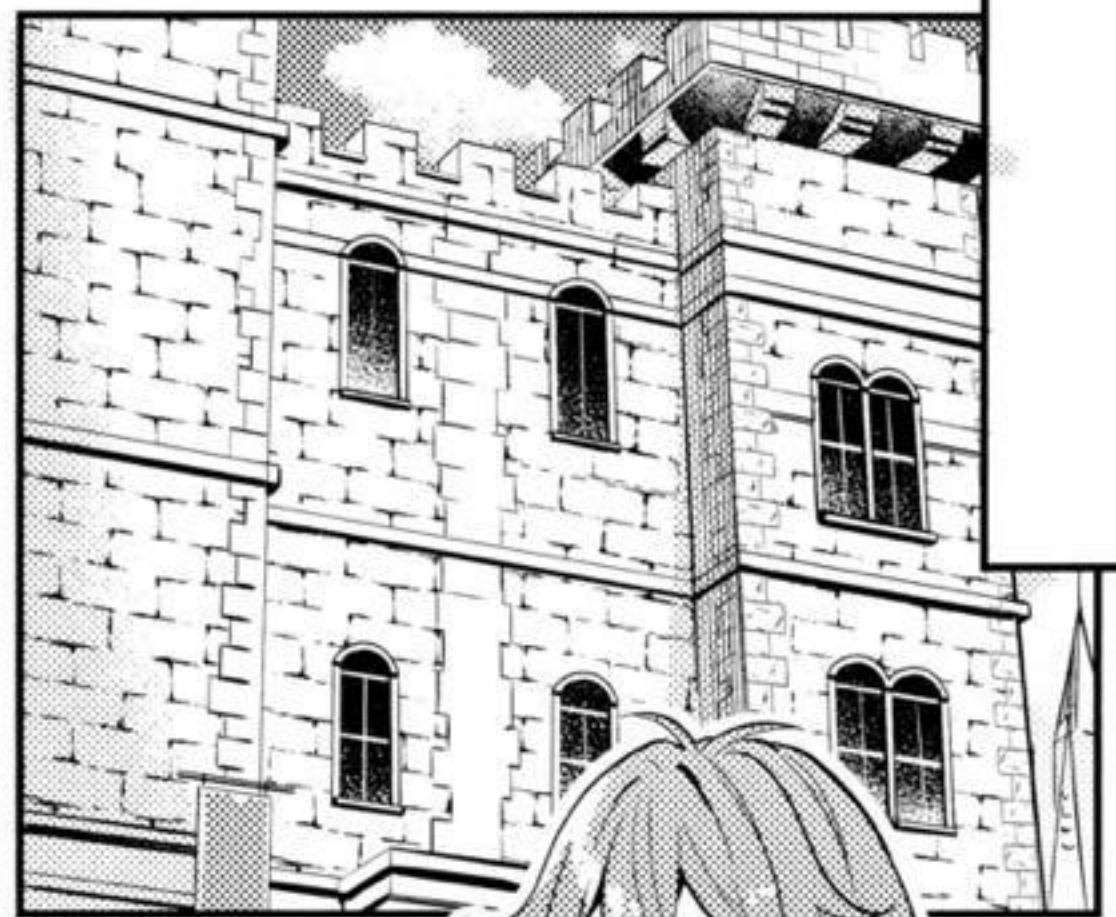


俺たちワイナリーに
少し様子を見に
行くけど
ガイアも来る？

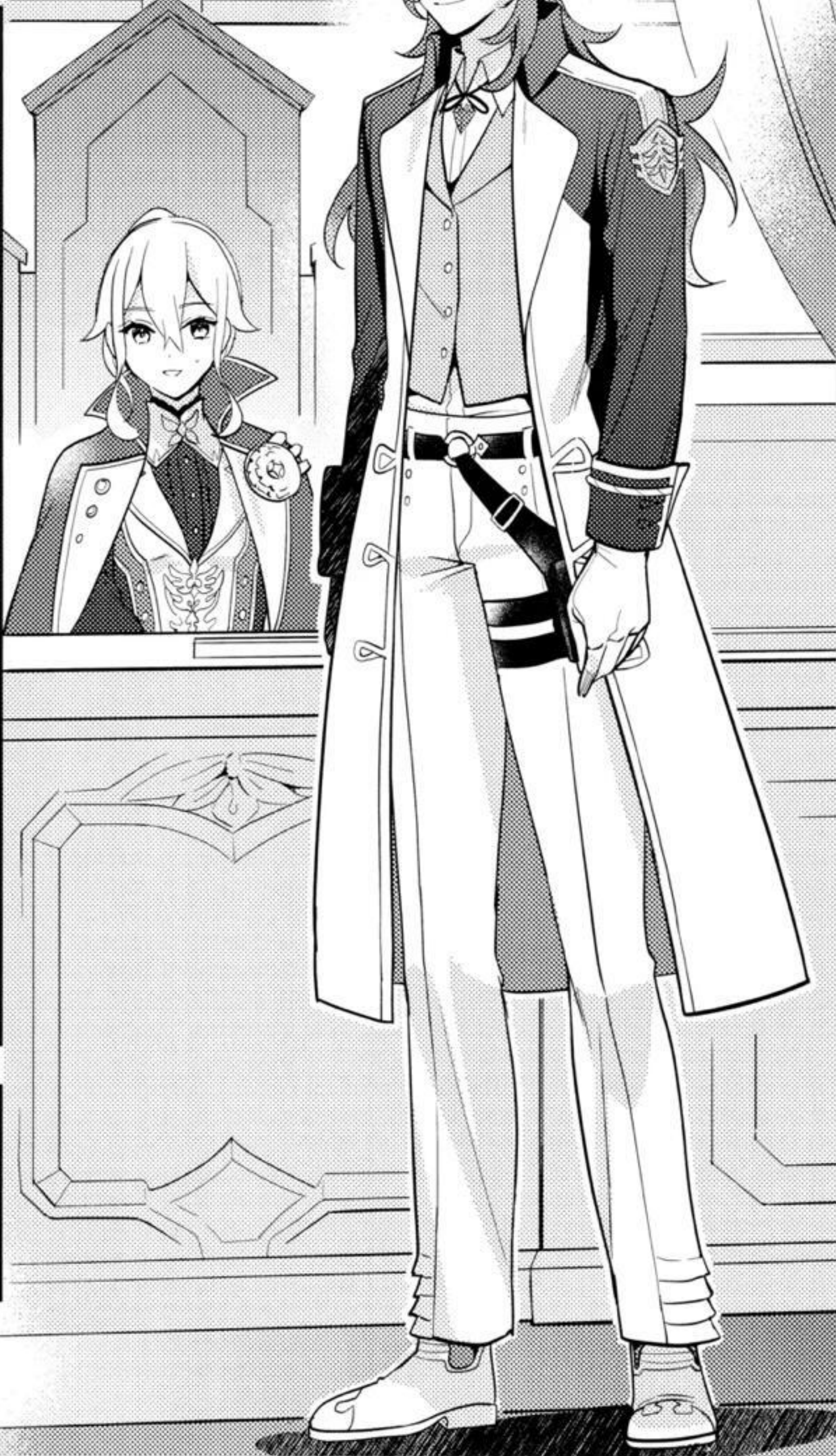
…いや
俺は遠慮して
おこう

報告もしなきゃ
いけないからな





おはよう
ガイア



……
デイルック



その…
君の任務の
手伝いをしたいと
言うのだが…

はっ



おはよう
ガイア

ええと…
ディルック先輩
なんだが…



うん

今は君が僕と同じ
騎兵隊長だと聞いた

今は人手不足
なんだろう？

僕も仕事は
把握しているし



僕がいたって
問題ないはずだ

ニク



いやいや…

別にお前は
働く必要
ないだろう

それに君の
今日の予定は
複数のヒルチャール
集落の掃討…







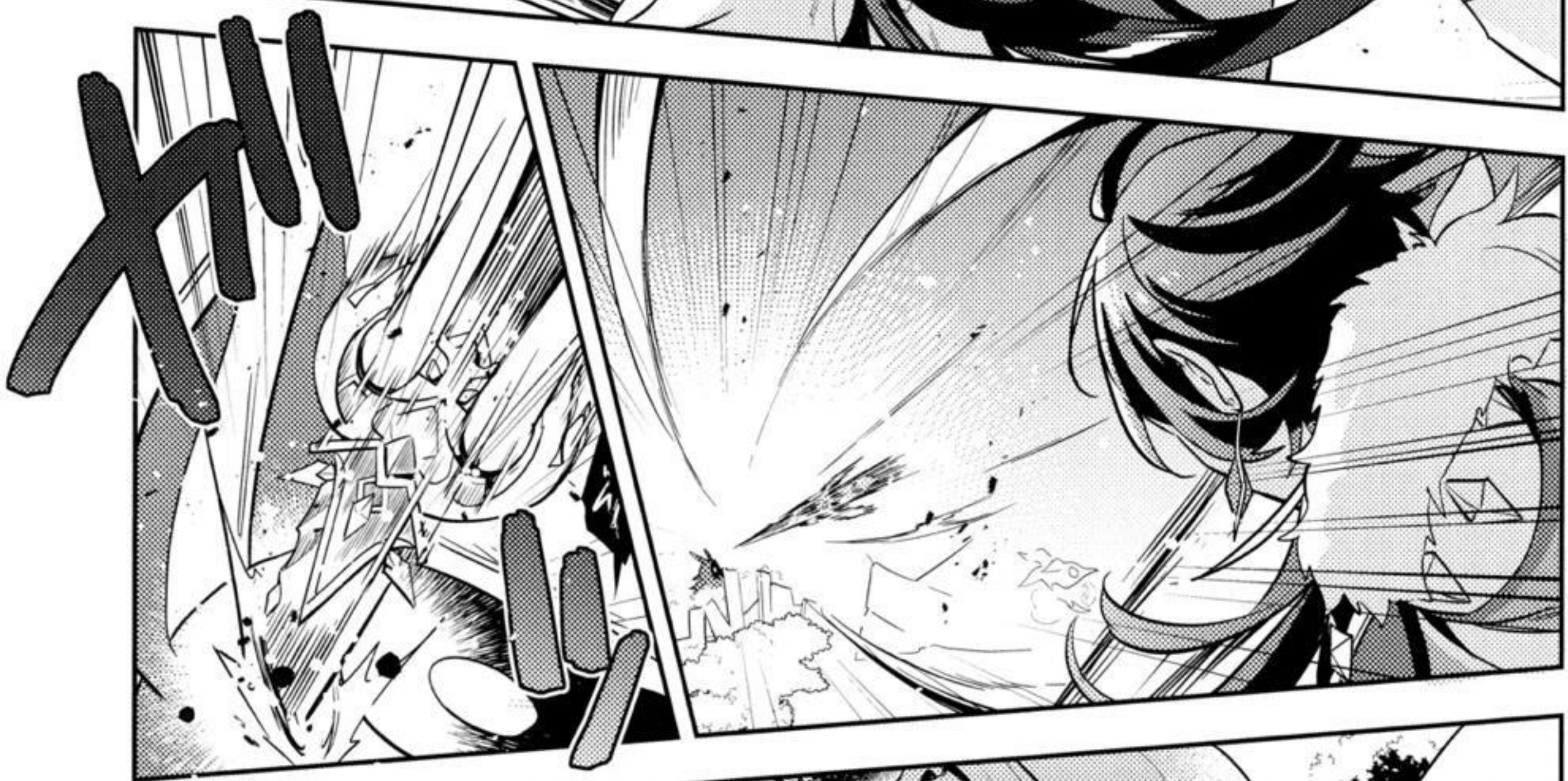
火炎よ——

燃やし尽くせ!!



——美しい炎だ









無茶しすぎ
だぜお前





かあ



ああ



さっさと
次行くぞ!



こうなりや精々
働いてもらうぜ

今日中に
全部の拠点を
片付けるぞ!



…ところで
ガイア

何で昨日
ワイナリーに帰って
来なかったんだい？

はっ？

あー…
いや俺は今
城内に住んでて…



今日は絶対に
一緒に帰るからね

アデルンも
会いたかったよ

……





確かに
昔はこういう奴
だったな...

—今は旅を経て
随分変わったが



...流されてる

シキヤン...



それでも...

...本来なら
俺と寝るだなんて
ことにはならなかった
だろうが




俺が警備を務めた
モンド内でのある
パーティーで


あいつは女に
薬を盛られた




—そもそも
始まりは
事故のような
ものだった




激しい性的興奮を
起こす薬だった



ただ
苦しそうな彼を
どうにかして
やりたくて



俺は――



…そして
その一度だけで
終わるはずだった
関係は

何故かずるずると
半年ほど続き
今に至る

酒場で密かに
約束をして

やることを
やって

朝になれば
いつの間にか
どちらかがいない

「好き」の
言葉ひとつ

互いに一度だって
口にすることは
ないのだ

そりゃ
そうだ

俺には
そんなもの

だから
あの言葉は本当に
想定外だったのだ

ちゃんと
「恋人」になりたい

思わず
何も言えずに
逃げちゃったが…



—それにしたって

よりによって
俺相手に「恋人」は
ないだろ…



ガイアー
もう出た？



…きつと
断ったら
二度とあいつと
寝ることは
なくなるんだろう



俺は…







一体
どういう反応を
するのだろうか？

この義兄に
本当のことを
言ったら…



僕が今得る記憶は
「今」の僕に影響を
及ぼさない

けれどそこで
俺の悪癖が
顔を出した



—それは…

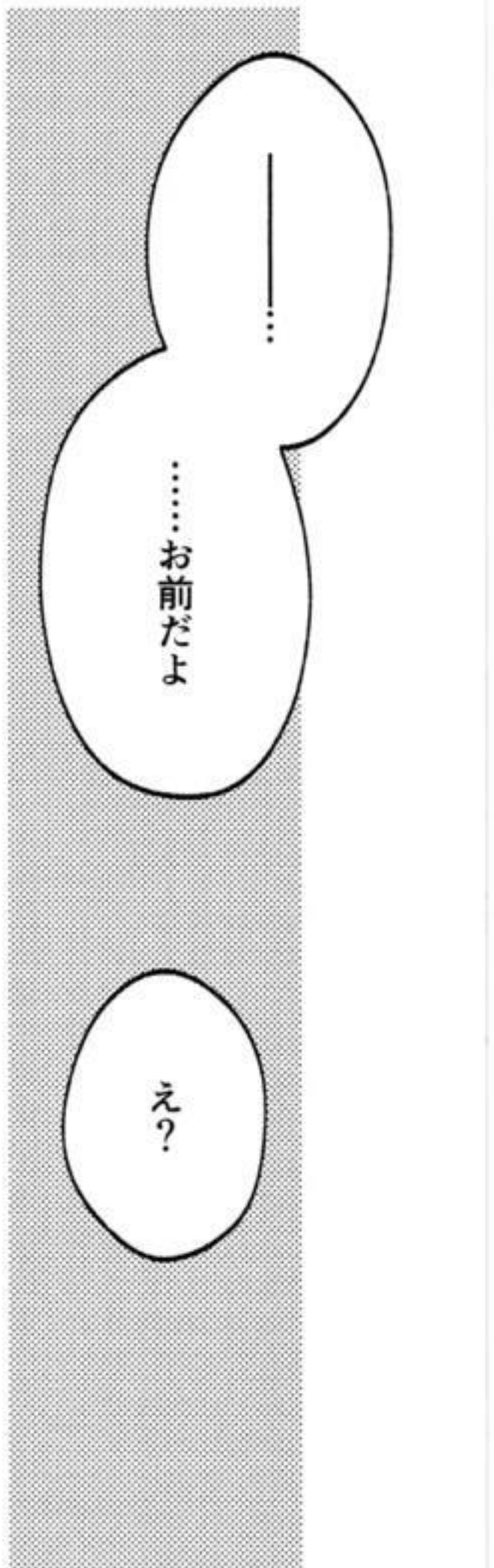
—どうとでも
誤魔化せたはずだ



ディルック



「今」のお前が
付けたんだ



……お前だよ

え？



ああ
嘘じゃない

さあ
どういう
反応をする？

怒る？
軽蔑する？



……それって
本当？



それって
僕が何でもかんでも
噛みついてるって
わけじゃないよね？

お前は未来の自分が
そういう奴だと
思ってるのか？



いっそ
冷たく残酷に
突き放して欲しい

そうすれば
俺も――

……まあ
そんな
ところだ



……じゃあつまり
君と「今」の僕が
そういうことを
したってこと？

君と「僕」は
付き合ってる？

……

…嬉しい

…は？

だって君が
僕の好意を
受け入れて…

君も僕を好きに
なってくれたと
いうことだろう？

嬉しいよ

—なんで

なんで
お前は
そんなに—

……それなら

したければ
お前も触って
いいんだぜ？



っ…どうだ
ディルック?

はっはっ

気持ちいい…?

っあ…
ガイア

そこで
喋らないで…っ

出てしまっ
…から…っ!

ん…
構わないぜ

一回出せよ

ツク、うつ…

駄目だっ…

じゅぽ

はっ

ぞんっ

はっはっ

ア
ガイア…っ
放して…ッ!

~~~~~ッ!



ま、待って！

君の方はその…  
…ええと  
慣らしたりしないと  
いけないんじゃないか…

大丈夫だ

お前が入浴中に  
いつも通り自分で  
慣らしておいたから…

無駄な手間を  
かけなくても  
すぐ…入る

…え？

ぬる…



…ディルック?

…それ  
今の僕とする時  
いつも  
そうなの?

君が一人で慣らして  
僕はそのまま  
挿れるだけってこと?



…それが?



そんなのは  
違うだろう

ちゃんとお互いに  
触れ合って…  
二人で良くなる  
ものだろ、こういうのは



…  
…お前はそういう  
甘ったるいセックスが  
したいのか?  
俺相手に?

…こういうところは  
違うんだな

あいつなら  
はしたなさに  
多少顔をしかめる  
くらいなのに



好·き·な·人·と  
す·る·な·ら·:  
ち·ゃ·ん·と·触·り·た·い

それは…

…したいよ

「僕」だって  
君のことが好きだ

小さい頃  
初めて君に  
会った時から…ずっと



本当はずっと…  
こういうことが  
したいと思ってた

どうして  
そうしてるのか  
わからないけど…

今の僕だって  
きっと君を—



だから君の誘いに  
乗ってしまった  
けれど…

やあ、



…ガイア？

…違うんだ

お前とあいつは  
俺に対する考えが  
決定的に違う



だって俺は  
お前を裏切っ—

そっだ

俺には  
そんなもの—…





—今、だけ…

—それなら

“この彼”になら

言っても許されるの  
だろうか？



「ガイア」



「ガイア」

ずっと  
言えなかった

本当の…

—好き、だ



…好きに  
決まってる

俺だって…  
ずっと昔から  
お前が好きだ

俺は男だし

お前を傷つけた  
酷い裏切り者で…

生い立ちには  
曰く付きで…  
これから何かが  
起こるかもわからない

もうお前から  
何も奪いたくないし  
傷つけたくない

…でも  
だからこそ…  
俺じゃ駄目なんだ

誰より幸せに  
なって欲しいのに…  
俺じゃお前を  
幸せにしてやれない

何一つ  
お前にやれる  
いいものがないんだ

お前の「恋人」だなんて  
特別なものには  
相応しくない

それなのに  
ずっとお前を  
縛ったままでは  
駄目だと思ってた

だけど惜しくて…  
手放せないでいた

でも、もう…

…それが  
君の本心？

…ああ

だから—

……あれ？

傷…？

!?



ディルック…!



い  
た  
ほ  
た

ちよ…

待て待てー!

力が強い…



ッお前…!

ド

サ



おっ…お前  
いつ戻って…!?

ちょうど  
今し方だ

どういう  
タイミング  
だよ…!



…まったく  
ロクな呪いじゃ  
なかったが…

君の「本心」とやらを  
聞けたのだけは  
僥倖かな



別に僕は  
恋人という肩書が  
欲しい訳でも

君にそういう態度を  
求めたい訳でも  
ないんだ



ちっ…違っ…

昔のお前があまりに  
必死だったから…!

…君をそんなに  
悩ませていたとは  
知らなかった

——ただ…あの  
誰でもいいような  
関係が虚しくて

だから君が  
僕と同じ  
気持ちで…

だからこそ  
他の誰でもない  
僕の元に来ているという  
“確証”が欲しかった  
だけだ

僕は君が好きだ  
…それこそ  
あの頃からずっと

あの雨の日のことを  
できなかったことには  
できないし

君と僕の間  
横たわるものを  
手放して許容することは  
まだできない

——でも  
それでも

それでも  
共にいることは  
できるはずだ

今後起こること  
なんて誰にも  
わからない

でもたとえ  
何かが起こっても  
君が幸せだという  
何かをくれなくても  
傷ついても

僕はもう何もできずに  
屈するほど  
弱くはないつもりだ

…ただ君が傍にいて  
この手を取って  
さえくれれば  
それだけでいい

関係の形や  
名前なんて  
どうでもいいんだ

—

—何だよ  
それ

結局大雑把に  
力業でまとめる  
だけじゃないか

「僕がどんなに無茶しても  
君なら絶対にカバーして  
くれると思ってた」





……それでいくともうセックスはしなくてもいいってことか？

！  
……いやそれは……

ははっ



欲張りだな

お前も

……俺も



……なあ中途半端に止められて困ってるんだ

「続き」しようぜ

！



…その前に  
僕に言うことは？

…アムネ

…あー…  
…はいはい

—ディルック

…そうだ  
ガイア

…？  
何でだ？

ぬち..

…

次からは  
準備して  
来なくていい

今まで君には  
そういう「線引き」が  
必要なんだろうと何も  
言わなかったけれど

もう必要ない  
だろう？

そ…それは  
そうだが  
でも…

それに—

『こういうのは  
ちゃんとお互いに  
触れ合って…』

二人で良く  
なるものだろ？

おっ…  
お前…!?

…まさか  
覚えて—

ッあ…!

お前…

卑怯だぞ!

確かに過去から  
現在までの僕に  
今回のことは  
影響はない…が

僕自身は彼越しに  
見ていたし…

あの時戻りたいと強く  
願ったから戻れたの  
かもね



どうだか  
君がそんなに  
節操がないとは思わなかった

あつ  
ゆ、わくつ  
なんて  
ほどじゃ…っア

あれ、だって  
お前だろ…ッ



なるほど…?  
自力で術を  
破ったって訳か…  
時間経過か  
術を破れば…

強…  
—だから  
知ってるよ



君が彼を  
誘惑した  
こともね  
あ



だから  
戻りたいって…  
思っただら？  
旦那様にも…っ  
可愛いところが  
あるじゃないか



…はっはっ  
んあ…ッ  
もしかして  
お前っ  
ア  
昔の自分に  
妬いて、んのか？  
はぁ…  
ずっ

…今の君の気持ちを受け取るべきは僕だろう

過去の僕なんか譲ってやる義理はないよ

君は彼には随分と素直なようだけどね

キリッ

…お前  
そういうところ  
ほんとズルい…

君にだけは  
狡いとは  
言われたくないな

それより  
そろそろこちらに  
集中してくれないか

っあ!









……  
…俺、さ…  
あのお前の…

「初めて」を…  
貰っちゃまおうと  
思ったんだ…



始まりが  
あだったし…

ほあ、

幻のでもいいから  
全部独り占めして  
やろうって  
思ったけど…

やっぱり…  
今のお前がいなきや  
意味がないな

今回のことで…  
お前とするのも  
最後かとも思って

……



ズッ！

ぽん！

ドッ！  
干ッ！





勘違いしている  
ようだけど…

僕は君としたのが  
初めてだよ



は？  
だって最初の時  
慣れてる感じ  
だっただろ

だから  
旅の最中とかに  
済ませたの  
かと…



それは君も  
余裕がなかった  
からじゃないか？

…それと…  
君とする想像を  
したことは  
あるから…

抵抗が  
なかったん  
だろうね



…そうかよ

…それより  
ガイア



今度ここに  
贈り物をしたいの  
だけれど



指輪でなくても  
何でもいいんだ

関係はさほど  
変わらなくても

好きな人に一つくらい  
目に見える印を贈りたい  
という我儘くらい  
構わないだろうか？

スル！

——俺たちは  
「義兄弟」で

…そうしたら  
身に着けて  
くれるかい？

「バーテンダーと  
客」で

「ワイナリーの  
オーナー」と  
「騎士団騎兵隊長」で

「闇夜の英雄」と  
「情報提供者」で

「被害者」と  
「裏切者」で

「元同僚」で

「初めての相手」で  
「元セフレ」で



色々な肩書は  
あるけれど

この関係に、  
つける名前は  
まだない



……お前も  
するならな



勿論

君が選んで  
くれたものに  
しよう

『名前はまだない』

2024.06.30  
Renjishi / 稿  
shimaxxi@gmail.com  
Twitter(X): shima\_ut  
Pixiv ID: 1259854

※二次創作による同人誌です  
※無断転載・複製・オークション等への出品禁止

感想等頂けたら励みになります！(マシュマロ)



printed by 金沢印刷様